

## 伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様	報告者	議員名 赤堀 久実
研修会名	第1回自治体決算の基本と実践 ～行政評価を活用した決算審査～	
日 時	平成 29年 5月 24日 12時 30分～ 5月 25日 15時 15分	
場 所	全国市町村国際文化研修所	

**【研修の成果】**

講師：稲沢克祐教授（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授）

**【 自治体決算の基礎 】**

- ① ひと：人口減少、高齢社会
- ② もの：道路や橋、施設も高齢化する
- ③ おかね：これからの地方財政の課題

} 資源＝行政サービス

・資源を縮小するということは行政サービスの何を減らすのか、30年間は人口が減少していく。今、努力していることが30年後に花開く。30年後、安定していく為には今が大事。

**《決算審査における着目点》**

・決算から予算へ：連動性で考える

予算審査で質問し提案したものが決算審査でどのように反映されているか、重視した予算をきちんとできているか決算として見ることが大事。

◆9月決算で提案⇒12月どうなっているか確認(12月頃、予算調整している)⇒3月予算に間に合う。予算要求を決算の時期にするべきでは。

<視点>決算審査においては、財務数値、財産、成果のそれぞれの視点から分析をする。財政計画と予算編成が連動しているか、財政計画をきちんと見る。

**【 公会計制度改革の理解 】**

・現金主義⇒発生主義 ①透明性向上②マネジメント力向上③資産・債務の適切な管理

**【 行政評価 】** 資源→活動→結果→成果

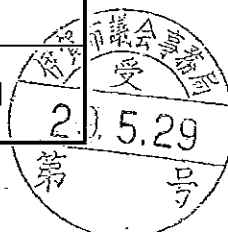
成果とは行政の仕事によって住民生活の質や地域の状態がどう変わったか。

・事業の目的 意図(どういう状態にしたいのか)⇒成果指標(指標設定考え方)がどうだったのか見ていく。《手段》〇〇によって《目的》〇〇させる

〔対象〕だれに対して〔手段〕どうやって働きかけて＝活動指標〔意図〕実施させるか＝成果指標

書ききれませんが、様々な角度からの講習をして頂き、とても充実した研修でした。

費用	旅費： 0 円	研修参加費： 7,300 円	合計： 7,300 円
----	---------	----------------	-------------



領収書等添付用紙

議員名

赤堀久実

調査研究費 **研修費** 広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費  
 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)

百五キャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきありがとうございます。  
 このご利用明細票は必ずお持ち帰りいただきますように  
 お願い申し上げます。

取 扱 日	取 扱 店	機 番	取引通番
29- 5-18 I	402	56	284
銀行番号	支店番号	口座番号	種別
0155			
お取引内容		お取引金額 円	
振 込		7,300	
お取扱できないとき		お取引後残高 円	
お取引時刻	ご利用手数料 円		
11:58	324		
みずほ銀行振込明細またはご案内 大津支店 普通 サイ)セブンコクシチヨウソクケンシユウサ イ ンセ 様 イカシギガイ アカホリ クミ 様 お電話 0595-51-4810 照会番号 * 000-10013			

印紙税申告済	
付につき済	<input checked="" type="checkbox"/> 百五銀行
税務署承認済	